

みつわ通信

2021年

8月号

担当 岡崎

夏本番です。

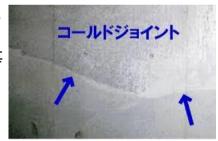
お疲れ様です。東京オリンピックにコロナ、いつもとは違う夏、皆様いかがお過ごしですか? 暑さ対策を万全に熱中症には特にお気をつけ下さい。今回は夏のコンクリートについてのお話をいたします。



気温が上昇し、コンクリート温度が上昇すると・・・

気温が高いとコンクリート温度も高くなり、運搬中のスランプ低下、連行空気量の減少、コールドジョイントの発生、表面水分の急激な蒸発によるひび割れ発生、温度ひび割れ発生等の危険性が増します。このため打ち込み時および打ち込み直後において、できるだけコンクリートの温度が上昇しないように、現場作業の段取り、打ち込み作業の効率化、養生等を素早く行うなどの特別の配慮が必要です。

型枠、鉄筋等が直射日光を受けて高温になるおそれのある場合は、散水や覆い等の適切な処置を施す事が必要です。また、型枠や地盤等のコンクリートからの吸水するおそれのある部分を湿潤にしてからコンクリートを打ち込むとひび割れ等の防止にもつながります。



暑中や日差しの強い日に打ち込まれたコンクリートの表面は、直射日光や風により乾燥して、ひび割れを生じやすいです。コンクリート打ち込み終了後、速やかにシートなどの養生をおすすめします。当社のおすすめ養生は、散布型の膜養生剤の使用が簡単で、おすすめです。気になった方は当社までご連絡ください。



お気軽にお電話ください♡

コンクリートに関することなら小さなことでも構いません。

Tel 023-686-6032 まで、お電話待ってます。

Facebookやってます!! (・∀・)イイネ!! お願いします!! ホームベージも毎日ブログ更新中!! 色んな情報がいっぱい!!